

大阪府建築防災啓発員 研修③

2025年

事業調整室都市防災課



目次

①大阪府において想定される地震と対策について

(危機管理室防災企画課)

②耐震化の必要性と基礎知識

(都市防災課耐震グループ)

③感震ブレーカーの必要性について

(都市防災課密集市街地対策グループ)

④確認テスト

密集市街地とは？

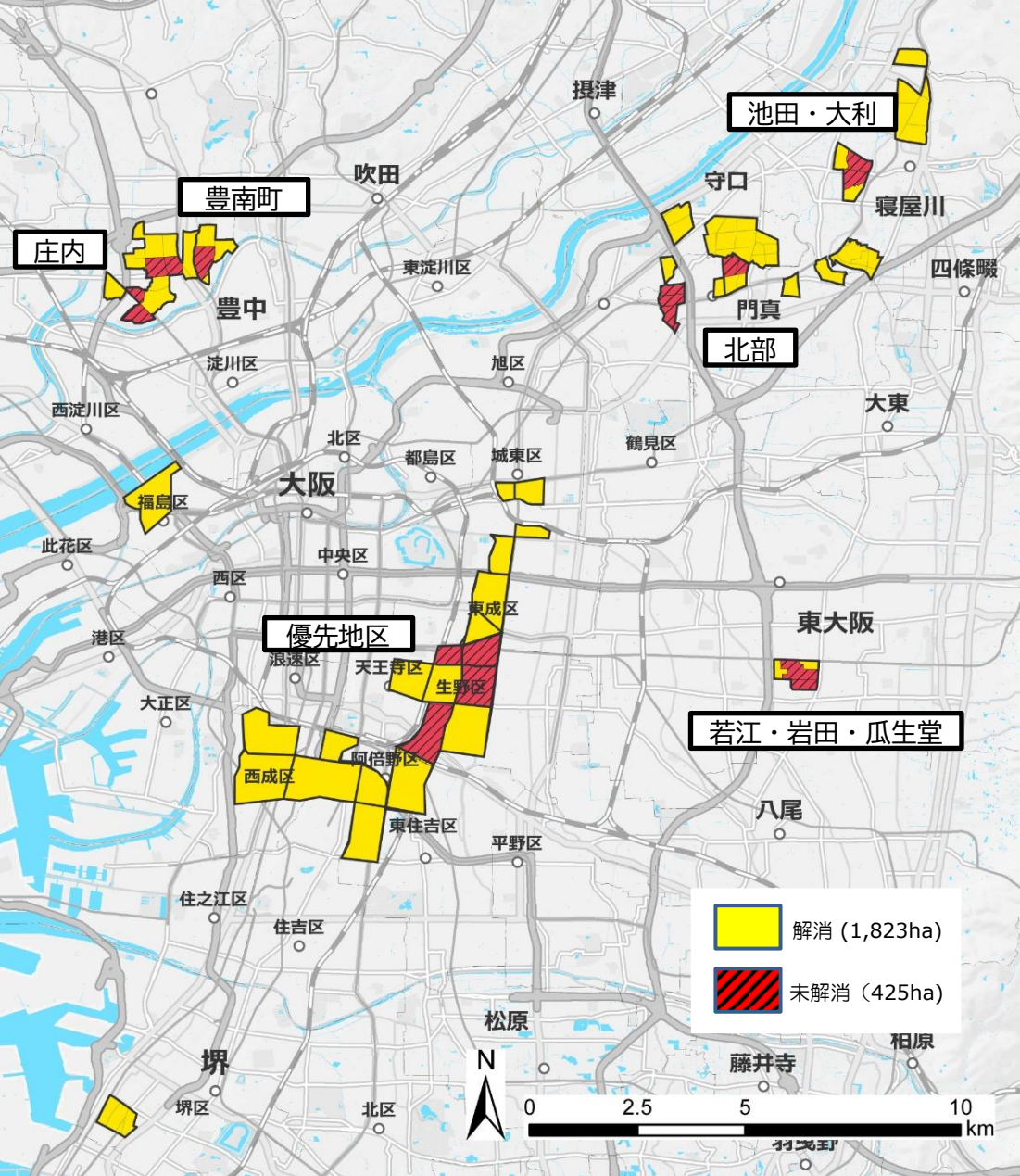
道路が狭く、老朽化した木造住宅等が**密集**している地域



- 地震時等において火災が発生すると、大規模な火災になる危険性が高い
- 道幅が狭いため、家屋倒壊により避難が困難

➡「地震時等に著しく危険な密集市街地」

大阪府内の地震時等に著しく危険な密集市街地



市	H24当初	R6年度末	
		解消	未解消
大阪市	1,333ha	1,119ha	214ha
(堺市)	54ha	54ha	0ha
豊中市	246ha	174ha	72ha
(守口市)	213ha	213ha	0ha
門真市	137ha	74ha	63ha
寝屋川市	216ha	178ha	38ha
東大阪市	49ha	11ha	38ha
合計	2,248ha	1,823ha	425ha

全国ワースト1の規模

大阪府内の密集市街地対策(ハード対策)

老朽建築物等の
除却・建替え



道路拡幅整備



大阪府における「地震時等に著しく危険な密集市街地」の解消目標

R7年度末までに9割以上解消
R12年度末までに全域を解消

阪神・淡路大震災(1995.1.17)



- ・大規模な建物倒壊・火災が発生(4万人が建物の下敷きに)
- ・住宅が密集する地域で、大規模な火災が連鎖して発生

火災件数

293件

焼損棟数

7,574棟

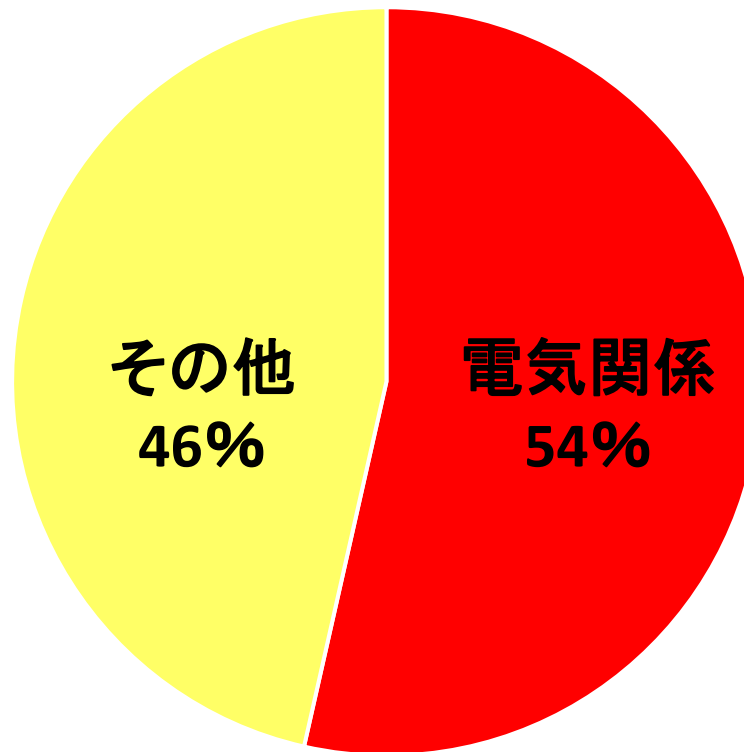
能登半島地震の輪島市火災跡 (2024. 1. 1)



- ・1軒の建物から出火し、観光地である朝市の約240棟が焼損した。
- ・木造住宅が密集する地域で発生した火災であったため、延焼が拡大。

焼失面積	焼損棟数
約49,000㎡	約240棟

地震時の火災の原因



東日本大震災の火災原因

※日本火災学会誌「2011年東日本大震災火災等調査報告書」より作成

地震による火災の過半数は「**電気火災**」が1番多い！！

地震時の火災の対策



電気火災の対策はどうしたらいいの？

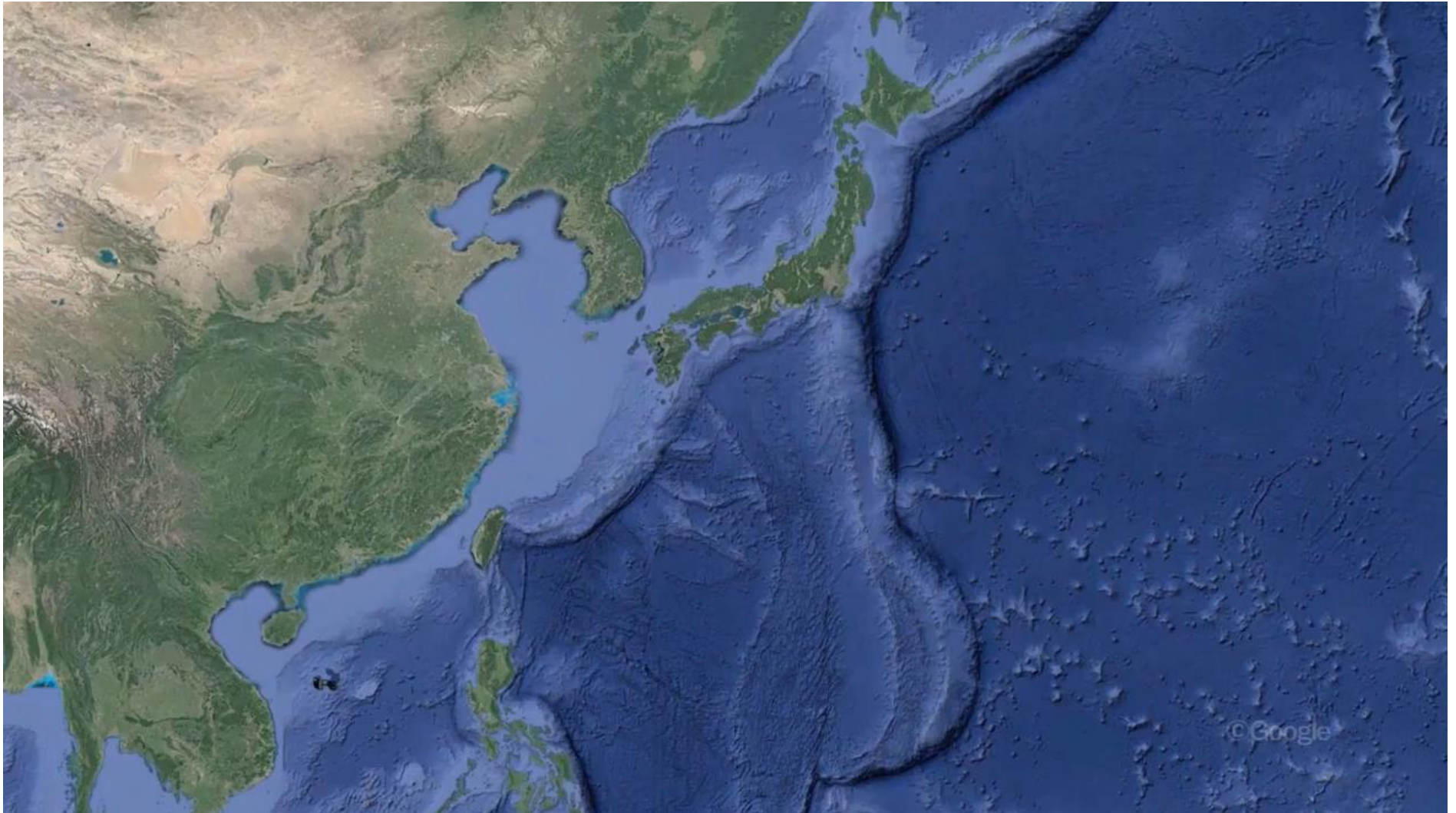
感震ブレーカーが効果的です

感震ブレーカーってなに？

地震時に一定以上の揺れを感知したときに
電気を自動的に止める器具です



大規模地震時における電気火災対策について(内閣府作成)



大規模地震時における電気火災対策について（内閣府作成）

動画をもう一度ご覧になりたい方は
上記QRコードを読み込んでいただくか
下記HPよりご視聴ください。

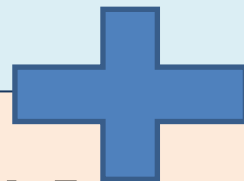


URL : https://wwwc.cao.go.jp/lib_012/kasaiboushi_all_j.html

電気火災対策

【地震時、自宅にいる場合】

- ・自宅を離れる時ブレーカーを落とす
- ・自宅に帰ってブレーカーを戻す前に、出火の恐れが無いか部屋の状況を確認
- ・電気を必要とする医療用機器をご使用の場合、バッテリー等を用意



【地震時、外出している場合】

- ・感震ブレーカーの設置

感震ブレーカーについて

簡易タイプ



おもり玉式



ばね式



その他

工事不要

約 3 千円～ 1 万円

揺れと同時に電気が遮断
(非常用照明を常備)
※一部例外あり

分電盤タイプ



内蔵型



後付型

工事必要

約 2 万円～ 8 万円

遅延機能あり

コンセントタイプ



埋込型



タップ型

工事必要

工事不要

約 5 千円～ 2 万円

製品により異なる

ご清聴ありがとうございました

【作成】大阪府 【音声】VOICEVOX:四国めたん

